

## 第2回自動車教習所パワーアップセミナー報告

全指連の金澤会長にもご出席を頂き、  
参加者160名を越える盛大なセミナーとなりました。

1日目「異業種に学ぶコーナー」は、(株)三愛常務取締役馬場末男氏による「老舗三愛の挑戦」。競争の激しいアパレル業界で“水着樂園”ブランドを全国100店舗に展開、さらに中国進出を見事に果たした秘話を講演。

前年の企画に頼らず、毎年新たな製品開発や販促企画にチャレンジすることにより、高価格でありながら若い女性の心を掴み続ける営業戦略のお話をいただきました。

「専門家に学ぶコーナー」は、全指連理事・交通評論家矢橋昇氏による「これでいいのか日本の交通社会」と題する講演が行われ、交通事故実態の分析から見たわが国特有の交通社会の問題点、運転者教育・交通安全教育の問題点などを具体的に抽出。それを受けて、今後の自動車教習所に求められる品位と教育者としての資質の向上策についてわかりやすく解説していただき、皆さん真剣にメモを取っていました。

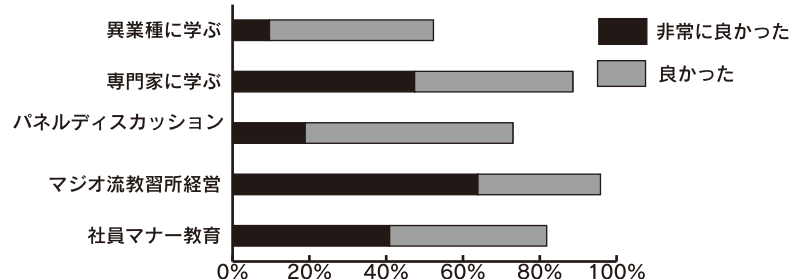
2日目「パネルディスカッション」では、全指連専務理事西山正樹氏を迎え、交通安全教育のスペシャリスト・交通評論家矢橋昇氏には研究者の立場から、東播自動車教習所社長山口勝英氏には経営者の立場と、三者三様の立場から、「21世紀の自動車教習所の役割」について語っていただきました。地域の交通安全センターとしての教習所の具体的な役割や間もなく実施される公正競争規約の運用等…小山社長の司会によりテーマはさまざまな発展を見せ、白熱した意見交換となりました。

午後は分科会「同業に学ぶコーナー」と「社員能力開発コーナー」では、(株)マジオネット社長松本義孝氏による「マジオ流自動車教習所経営術」と、文教大学教授山口一美氏による「社員マナー教育II」を実施。どちらのコーナーも即実践出来る内容であり業績向上に直結した秘訣を持ち帰ろうと真剣な分科会となりました。



### 参加者コメント

- 当業界は考え方、体質とも他業界とは比較にならない程劣っていることを再確認した。
- 普段の業務では他校の状況を知ることができないのでこういう機会は貴重だった。
- 是非、若手の職員にも参加させたい。



### 「パワーアップセミナーに参加して」 タイヘイドライバースクール 代表取締役社長 高萩 阿都志

全国から大勢の方々が集まるこのセミナーは、情報交換の場としても大変有益であり、私は、夕方からの懇親会を目当てに参加しているのですが、昼の部のセミナーも期待以上の内容で、大変充実した2日間を過ごすことができました。

三愛常務馬場氏の「商品価値から、サービス価値へ転換」「同一ターゲットユーザー企業とのコラボレーション」という言葉は自動車学校経営においても通じるどころがあり、大変参考になりました。

また矢橋氏の「背景にあるわが国の交通社会に特有の問題点」も専門家の観点から様々な点について本質に触れられ、特に自動車学校で教えることと実際の道路でなされている運転の違いについてどのように解釈して教育すべきなのかという点については考えさせられるところがありました。

2日目は、自動車教習所の本来やるべきことが、様々な立場から示されました。西山専務の公正競争規約の目的や消費者代表の意見の話等(教育は値段より内容重視)や、山口社長が安全運転教室に積極的に取り組み地域から大きな信頼を得ている状況、矢橋氏が述べられた「決められたことだけではなくもっと研究する必要がある」という事など、事業継続の為にも忘れてはならないポイントが改めてクローズアップされたものと思われま。

さらに松本社長の経営術の話は、経営理念の大切さを実践者の熱い言葉で聞くことができ大いに感動いたしました。

21世紀を迎え、少子高齢化の進展とともに教習所業界が転換期を迎えていることは皆様が実感されているとおりでありますが、私も、常々自動車学校経営の本質を見直す時期であると考えていましたので、今回のセミナーは大変勉強になるものでした。先輩諸兄からお伝えいただいた原理原則の重要性を改めて実感し、何のために自動車学校があり、何のために経営をするのかを噛み締めながら帰路につきました。

酒も沢山飲んだし、勉強もしたし、確かにパワーアップセミナーでありました。コヤマ交通教育サービスの皆様に感謝!